

Language Learning product
— major units for junior high —

Basic English Composition

- Road to be an Expert -

BOOK 1
for Assist

これから英語を始める人へ。

まずはじめに、英語と日本語の言葉の使い方の特徴を見ておくよ！

日本語の特徴は、言葉を自由自在に置き換えること。

で、

『感情を伝えること』を第一に優先する言語だと言えるんだ。

そのため、“は・が・を・に・の”などの助詞という言葉を使いこなせば、

好きな順序で自由に表現できるんだ。

一方で、

英語はルールにのっとってきっちりと表現をする言語なんだ。

じゃあ、そのルールなんだけど、

一体どれぐらいあるんだろう？

一言でいえば、たくさんあるよ。

でもね、難しく考えなくても、

交通ルールってあるでしょ？

“赤は止まれ、青は進め。”なんてね。

英語も最初はこれぐらい単純なものから入っていくから

心配しなくても大丈夫だよ。

君と出会ったことで、

君が将来、英語を使う日が来るかもしれない。

そのときに、これから学んでいくルールが

少しでも役に立てればいいな。

できる限り、語り口調で書いてあるので、

友達からのメールを読むぐらいの心持ちで、

リラックスしながら、のんびりとやっていこう！

a / an の使い方

英語を使う時は日本語よりも一つ一つの語句を

はっきりさせて使わないといけないルールがあるんだ。

その一つに、“a”を使い分けることなんだよ。

この“a”の使い方を身につけるのに必要なステップとして、

『名詞』という言葉を知っておこうね！

名詞って、『この世で使われているすべての名前』を意味するよ。

あの世で名詞が使われているかどうかは、定かではないので、この世にしておく（笑）

では、説明だけではイマイチだし簡単に確認してみようか！

下の中から名詞を選んでみて！

パジャマ　くつ　ネクタイ　雨　カメハメ波
電柱　自動販売機　メタルスライム　とんこつラーメン
鈴木さん　コーヒー　グレイシー柔術　ポテトチップス
雷　小説　家　野球　免許証

いくつ見つかった？

正解は、すべて名詞なんだ。

もう、とにかくい〜っぱいあるんだ。

それが名詞なんだよ。

そして、その名詞が英語で出てきたら、前に“a”をつけるというだけ。

簡単でしょ？

でも、何でもかんでも“a”をつければいいというわけじゃないんだ。

英語では、名詞を大きく2つに分ける考え方がある。

それは数で『数える名詞』と『量で数える名詞』だ。

数で数える名詞は、

一つや一人っていう風に数の単位をつけて数えることができる名詞のこと。

(数の単位は、1個、1台、1冊、1箱、1機、1脚、1件などさまざまな表現があるよね！)

この数で数える名詞には“a”をつけるんだよ。

表で当てはまるものでいうと、

パジャマ、くつ、ネクタイ、電柱、

自動販売機、小説、家、免許証がそうだね。

一方で、『量で数える名詞』は一つという考え方がないんだ。

今からある場面を想像してみて。

君は今、夕方のニュースを観ている。

天気予報が流れているね。

そして、お天気お姉さんがこう言うんだ。

“今日は各地域で、雨が多く降りました。”

“この雨は明日も続くでしょう。”

“各地の降雨量(降水量)はこちらです。”

そうって、各地域の雨の量をチェックするよね。

そして、

“明日も雨か。傘を持っていかなきゃ♪”なんて考えるかな。

ごく自然な日常の一場面だけど、

先程のお天気お姉さんのあるフレーズに注目。

“各地の降雨量(降水量)はこちらです。”

この表現がすごく大事！

もしこれが、“各地の降雨数はこちらです。”なんてなってしまうと. . . .

“ああ、明日は60000粒の雨が降るのかあ。”

“傘を持っていかなきゃ♪”とはなりにくいよね？

実は、君も僕もそうだけど、

日本語を話す人は数や量を表す言葉に対して、

ほとんど意識せずに使い分けているんだ。すごい！

でも、英語ではそうはいかないんだ。

量で数える名詞には“a”をつけないというルールがちゃんとある。

食品の多くもそれに当てはまるよ。

スーパーで買い物するときに、一度よおおおく表示を見てみてね。

●●グラムと書かれていることがどれほど多いことか！

このルールにのっとなって表を見ると、雨、コーヒー、雷が当てはまるんだね。

じゃあ、最後に残った、カメハメ波、メタルスライム、とんこつラーメン、鈴木さん、

グレイシー柔術、ポテトチップス、野球は一体どんな名詞なんだろう？

これらは固有名詞と呼ばれる、独特なものなんだ。

“a”はつかないよ。

だって、この世に一種類しかないから。

(スポーツは世界共通のルールが一つしかないですよ？)

だから、英語を話す人たちは、わざわざ“a”をつけて、“1”と数えようとしなないんだ。

日本人にしてみると、なかなか変わった考え方だね！

ただ、全てに一つ一つ使い方があり、絶対に守りましょう！

という堅苦しいものでもないから、

まずはビビらずに、おおまかに分けて少しずつ慣れていこうってことだ。

だって、英語は勉強というよりも、日本語以外の言語として海外の文化に触れるためのものだしね！

それぐらいの気持ちでサクサクっと練習していこう！

[aとanの発音トレーニングはここをクリック！](#)

『これは～・あれは～』

“a”と“an”の使い方が一通りわかったところで、今回は『これ・あれ』を見ていっちゃうよ～。

日本語でこそあど言葉って知ってる？その英語版が今回するところ。

ただし、『これ=this』、『あれ=that』、『それ=it』と覚えればO.K! っとはいかないんだな、これが。

単語を覚えるだけであれば、それで十分なんだけどね！

これからは、単語と単語をつなげて、文章を作っていくのが第一の目的。

少しずつ読み慣れていけばいいから、まず知っていこうね。

で、『これは～・あれは～』のルール。それは、

=(イコール)でつなげるということなのだ。

ようするに、

『これ = 名詞』、『あれ = 名詞』 っ と作るだけ！簡単でしょ？

あとは、名詞の使い方に気をつければ完璧！

じゃあ、=(イコール)って一体？何??ってなるんだけど、

その=(イコール)こそが“is”なのだ！

よく学習参考書には“は・が～です。”と書かれていて、

be動詞って言葉と一緒に目にするけど、

要は“(イコール)”でつなぐ目印なんだね。

(be動詞という言葉自体は、また改めて説明するね。)

算数で $1 + 1 = 2$ って風に、同じ数字をつないでるでしょ？

英語で表現するときもその考え方がぴったり合うんだ。

ベースの作り方がわかったところで、文章の種類も知っておこうね！

“=(イコール)”の文章は大きく分けて3種類あるよ。

一つは、『これ=(イコール)名詞』の形。

日本語では、肯定文(こうていぶん)と呼ぶよ。

私は認めます(肯定します)ってことだね。

二つめに、『これ≠(ノットイコール)名詞』の形。

日本語では、“これは～じゃない。”って意味で使うよ。

“そうじゃない。”んだから、否定してるわけだね、だから否定文。

“～はない。”と考えると、is(=)とnot(ない)をつなぐんだよ。

最後に、『=なの？』って意味の形。

日本語でいうと、

“イコールなの、これとペンって？”

って形で英語が並んでいると考えれば簡単！

日本語と英語で書いてみると、

“Isなの thisと a penって？”ってなるよね。

ひらがなをはずすと．．．。

“Is this a pen?”完成だね！

あとは、“イエス”と“ノー”で返事をしよう。

“はい、それはペンです。” Yes, it is a pen.

そこまで丁寧に言わずともさ、ペンについて聞いているのはお互いわかってるよね。

だから、Yes, it is. これでO.K.なんだ。

“いいえ”はNo, it is not. で伝わるよ。

あとは、日本語に合わせて文章を作るのみ！

ではでは、早速やってみよう！

[これは～・あれは～ I 発音トレーニングはここから！](#)

[これは～・あれは～ II 発音トレーニングはここから！](#)

所有格

さて今回は所有格（しょゆうかく）にいくよ！

まず所有格の意味を知っておいてね！

“所有”って言葉は、“持っている”って意味。

所有者って使うと持ち主のことをいうし、

所有地であったり、所有物って言葉が日本語で使われるよ。

で、“格”ってのは、英語でよく出てくるんだけど、その“形”を意味するんだ。

つまり、“所有格”は“～が持っていることを表す形”なのだ。

例えば、『私が持っている本』って言葉があるとする。

これを所有格で言い換えると『私の本』になるわけだ。

あとは、“私の”my(マイ)と“あなたの”your(ユア)を名詞の前につければ出来上がり！

気をつけて欲しいことは、ただ一つ。

所有格を使うときは、“a”や“an”はつけないんだよ。

なぜかって??

それはね、『いくつある』のかを伝えるんじゃなくて、『誰が持っている』かを伝えるためなんだよ。

ここで大切なことは、“持っている”ってこと。

所有格を使うときは、“a”なのか“an”なのか考える必要はなくなるんだね～。

少しだけ楽できると思えば、できそうでしょ？

じゃ、説明はこれぐらいにして作文しようか！

あっ、一つ言い忘れた。

所有格は、人の名前を表す固有名詞には使えないよ！

だってさ、“私のトム”なんて恋人同士とか特別な関係でないと使わないでしょ？

そこらへんのところ、よろしくね。

[所有格 発音トレーニングはここから！](#)

疑問詞を使う疑問文

それじゃあ今回は『ギモン詞を使うギモン文』に進んでいくよ。

ギモン、ギモンとでてくるけど、

疑問文には、2つの顔があるんだ。

まず、疑問文ってのは、相手に“返事”をもらいたいときに使うんだ。

だからこの場合は、“そうだよ。(Yes.)”か“そうじゃないよ(No.)”しか

返ってこない。

その疑問文に疑問詞ってパーツをくっつけると、

相手は“答え”を教えてくれるんだ。便利だね。

で、まずは実際の表現で比べてみてみよう。

次のパパと娘の心温まる会話を読んでみて↓

“ねえねえ、パパ。あれはパンダ？”

“そうだよ、パンダだよ。”

もう一つ、

“ねえねえ、パパ。あれはなあに？”

“あれはね、パンダだよ。”

ポイントは、パパのセリフだね。“そうだよ。”と“パンダだよ。”って違うのわかるかな？

英語にすると大違い！“Yes.”と“Panda.”、ほら全然違うでしょ？

これが、疑問文と疑問詞を使う疑問文との違いだね。

あとは、文章の作り方を見ていくよ。

疑問文は“イコールなの、これと、パンダって？”の形だから、

“Isなの、thisと、a pandaって？”だね。

日本語をはずすと、

“Is this a panda?”になるんだ。

次に、疑問詞を使う疑問文にしてみるよ。

一つずつ順番に作っていくから、よおく見ててね。

“あれ＝パンダ。”は、

“That is a panda.”

娘はパンダがわからないから、

“That is ?????.”

????=何(疑問詞what)を当てはめると、

“That is what.”

疑問文にすると、

“Is that what?”

ここで、ポイント①！！

『is』はイコールなのかを聞くから、返事（Yes／No）しか答えられないんだ。

それと、ポイント②！

『英語はじらず、どストレートに表現』が大切。

“何”に対して答えて欲しいから、一番最初に聞くんだ。

よって、“What is that?”

あとは、疑問文との違いをよく見比べて、作文するんだ！

[疑問詞 発音トレーニングはここから！](#)

be動詞

今回、一度名前が出てきたbe動詞をくわしく見ていくね。

動詞って言葉は知ってるかな？

動詞っていうのは、『人やものが動くときに使う言葉』のことなんだ。

日本語にもたくさんあるよね。

この動詞と名詞を組み合わせることで文章、すなわち言語ができるんだ。

それとね、今までの説明で“●●詞”って言葉がちらほら出てきたよね。

この言葉は、『品詞(ひんし)』といって普段使っているたくさんの言葉の種類を簡単に区別することができるんだ。

品詞を知っておけば、文章を作るときにどの部分で使うことができるかもわかってしまうんだ。

役に立つこと間違いなしだから、絶対覚えておこうね。

それじゃ、be動詞についてみていくよ。

be動詞(is)は“=(イコール)”だったり、“は・が”の意味で使うと話したよね？

文章を作るときは、それでいいんだけど動作って感じがあまりしないよね？

じゃあ、動作っぽく日本語にすると何て言えばいいんだろう？

答えはね、『存在している』なんだ。

だからね、“これはペンです。”っていうのは実は、

日本人の日本人による日本人のための表現(笑)なんだ。

じゃあ、英語を話す人のイメージにすると、“これは-存在する-1本のペン(として)。”

みたいな感じで使っているわけ。

もう少し先の单元だけど、“～がいる・～がある”って意味でも出てくるんだ。

そのときには、今日の話を出してね。

あと、be動詞って名前なのにどうして“is”なの？って疑問が残るよね。

この答えは、次の『人称代名詞』ってところで説明するね。

[Be動詞のまとめ発音トレーニングはここをクリック！](#)

人称代名詞

では、早速『人称代名詞』に入っていくね。

言葉の意味から確認するよ。

まず『人称』ってのは、“人のことを称する(=呼ぶ)”と考えるよ。

『代名詞』は“名詞の代わりに使う言葉”という意味の新しい品詞なんだ。

つまり、今回見ていくのは、『人のことを呼ぶときに、代わりに使う言葉』なんだ。

普段日本語でも良く使っているよ。

自分のことは“私”、

相手のことを“あなた”、

または男性を指す“彼”、女性を指す“彼女”なんて言葉。

あれ、全部『人称代名詞』なんだ。

じゃあ、使い方なんだけどいたって簡単。

『これは～・あれは～』のときと同じで、be動詞をくっつけて使うよ。

ただし、ここからが問題。

全ての人称代名詞に“is”をつけるわけじゃないんだ。

前回、be動詞って名前なのにどうして“is”なの？って疑問が残ったよね。

答えはこの人称代名詞にあるんだ。

be動詞は、『前にくっつく名詞に合わせて、形をどんどん変えていく』性格を持っているんだ。

だから“This is a pen.”って文章も、

もともとは“this”と“be”と“a pen”って単語をつなげて文章にするときに、

“be”が“this”に変化しちゃったんだ。

ただ、そんなにたくさん変わるわけじゃないよ。

単純に、

“私：I(アイ)”には“am(アム)”と変化して、

“あなた：you(ユー)”には“are(アー)”、

“Iとyou以外の人やモノ”には“is”、

がくつつくというだけなんだ。

これで英作文ができるね。

それとね、英作文ができた後で、知っておいて欲しいことが一つあるんだ。

それはね、

『人称』の順番を表す言葉があるということ。

自分自身をスタートとして考えて、

“私(一人)”を1人称単数、

次に目の前にいる相手“あなた(一人)”を2人称単数、

そして、

“私とあなた以外に当てはまる一人の人や一つのもの”を3人称単数って呼ぶんだ。

このことを知っておけば、次以降で出てくる『複数形』や『一般動詞』がスムーズになるよ。

繰り返して読んで、覚えてしまおうね！

これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！

形容詞

今回は、形容詞という品詞を見ていくね。

まず、意味の確認から。

“形容”って言葉の意味は、ものや人の有り様や形。

つまりは、人やものをくわしく説明する言葉のことなんだ。

一つのリンゴを思い浮かべてみよう。

これから、どんどんくわしく説明するので想像してね。

一つのリンゴ。

一つの赤いリンゴ。

一つの赤くて大きなリンゴ。

一つの赤くて大きくておいしいリンゴ。

一つの赤くて大きくておいしくて高級なリンゴ。

ほらね、最初のリンゴと比べると、すごくイメージしやすいよね。

こんな風に、

リンゴのようなモノや人をくわしく説明できるのが形容詞なんだね。

形容詞の働きは、“名詞をくわしく説明する品詞”だと覚えてしまおう。

今から唱えて覚えちゃうよ～！

『形容詞』、“名詞をくわしくする言葉”

『形容詞』、“名詞をくわしくする言葉”

『形容詞』、“名詞をくわしくする言葉”

『形容詞』、“名詞をくわしくする言葉”

『形容詞』、“名詞をくわしくする言葉”

じゃあ、あとは形容詞の見つけ方を教えるね。

一番簡単な方法は、“～い”となる言葉で、

名詞をくわしくしていればOK。

それが形容詞なんだ。

例えば、やさしい、うれしい、強い、安い、明るい、速い．．．。

けっこうあるよね。

まずは、自分でイメージした日本語を英語で探してみようね。

結構な収穫になるよ。

それができたら次は上級編だ。

いろんな日本語の文章、新聞やテレビ、本とかもそうなんだけど、

いつも“～い”と出てくるわけじゃないんだ。

実は、“～い”という形ではない形容詞もあるんだ。

“健康な”とか“困難だ”とか、“総合的な”とかもそう。

日本語では、“～だ”とか“～な”って言葉は

形容詞とは少し違うと考えられるんだ。

(形容動詞なんて名前があったりもする。)

でもね、英語ではそういうのも全部ひっくるめて、

“形容詞”って呼ぶんだ。

徐々に進めていく中で、

長い文章を読んだりする機会もこれから増えてくると思う。

英語の意味を考えるときには、

今の説明を思い出してみてね。

今日の授業はここまで。お疲れさまでした。

それじゃ、英作文で書きながらルールに慣れてしまおう！

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

一般動詞

今回は一般動詞だね。

今までの、授業を聞いて、ある程度の理解ができていれば、ここはそう難しくないよ。

もし、心配なら一度、“be動詞”のところは読み返してほしいな。

それじゃ、気を取り直して進めていくね。

一般動詞って名前が付くぐらいだから、

そのまま“普段、僕たちが日常で使う動作”の言葉と考えれば簡単だね。

起きる、

洗う、

磨く、

行く、

働く、

学ぶ、

帰る、

食べる、

観る、

寝るって感じで一日の行動を動作だけでも言うことができるよね。

後は、少し時間がかかっちゃうけど、ゆっくりでいいから動作を表す単語を覚えていこうね。

練習して覚えるときの、コツはね、いきなり書いて練習しないこと。

とにかく、自分でいっぱいその言葉を言うてみるのが一番大切なんだ。

だってね、みんなが生まれて、日本語を使いこなせるようになったのは、

幼い頃に、書いて練習したからではないよね。

何度も何度も口で周りの人の音を真似したからだよ？

英語を覚えるときも、それと同じなんだよ。

声に出さなくてもいいから、唇だけでも動かして言うてみようね。

それを乗り越えれば、あとは楽なもんだよ。

英作文をするときのルールが助けてくれるよ。

それはね、『語順』なんだ。

英語って、難しそうに聞こえるけど、実はこの『語順』ってルールに乗せて表現しているんだ。

その『語順』がこれだ↓↓

『誰が(何が)』 『どうする』 『何を(誰を)』 『どんな風に』 『どこで』 『いつ』

はい、これだけ。

ほとんどの文章はこのルールでかけるんだ。

動詞という言葉には全部“は”とか“が”が入ってるから、be動詞を使う必要もないんだ。

だから、例えば“私はお昼ご飯を食べます。”

であれば、『私』と『は食べます』と『昼ごはんを』と単語を並べてみよう。

I eat lunch.

(昼ごはんは量を表す名詞だから“a”はいらないね。)

となるわけだね。

これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！

複数形

今回は、複数形だね！

それでは早速見ていくんだけど、『人称代名詞』で、

単数形って言葉が出てきたのを覚えてるかな？

“一つ”とか“一人”っていう“1”を表す意味で使うんだってね？

単数形に対して複数形は、“たくさんの数”を表すよ。

日本人も良く使う言葉で、親しいものがある。

たとえば、“シューズ”。もともと、くつって英語は単数形で“シュー”なんだ。

でも、普段から2足セットで使うでしょ？

いつの間にか、複数形だったんだけどその意味が薄れて“シューズ”になったんだ。

他にもあるよ。

甲子園や東京ドームでおなじみの、野球の球団名だ。

これも複数形がふんだんに使われてるんだ。

“読売ジャイアンツ”とか、

“阪神タイガース（ホントは“ズ”なんだよ）”とか、

昔は“大洋ホエールズ”なんてのもあったりしてね、

とにかく複数形の名前が多いんだ。

でね、使い方は日本人は慣れているから難しくはないよ。

“-s”や“-es”をくっつければいいだけ。

これでたくさんの複数形がいとも簡単に作れる。

細かいルールは後からでいいよ。

まずは、表にある単語に“-s”をくっつけてみよう。

これ以降は、そのあとに読んでもらっていいよ！

では、細かいルールを説明するとしてよう。

表で複数形を作ってくれたかな？

その中で、うまくいかないものはなかった??

あればOK！

なければ相当運が強い！（その運、僕に分けて笑）

なぜうまくいかないものがあるかというと、

それは音のルールがあるからなんだ。

『英語を始める前に』の章でも話したと思うけど、

この複数形あたりからカタカナ英語では解決できないことが出てくるんだ。

その症状の一つに“-s”や“-es”をつけたときの音がよくわからないことなんだ。

そこで、音のとらえ方を教えるね。

まず、英語の音には大きく分けて2種類の音がある。

一つは、のどの声帯という部分を震わせて作る音“有声音(ゆうせいおん)”、

もう一つは、その声帯を震わせずに作る“無声音(無声音)”というものがあるんだ。

どちらの音なのかを区別する方法はちゃんとあるよ、心配しないでね。

手のひらの指先をそろえて、のどを押さえてみて。

そのまま、 “あ～あああ”つと尝试してみると. . . 。

ほら、のどが震えるでしょ？

これが、有声音。

次は無声音だね。

さっきと同じやり方で、汽車の走る音“シュツシュツ”つて尝试してみると. . . 。

震えないでしょ？

これが無声音なんだ。

つまり有声音に複数形の“s”や“es”がくっつくとその部分の発音は“ズ”になる。

また、無声音にくっつくと“ス”になるんだ。

でもいつもいつもものを押しさえて声を出していると変な人に見えちゃうね汗

そこで、今から唱えるこの呪文を覚えてほしい。

“ムセイオン！カ・パ→ス、シャ・サ・タ→イズ！”

これでOK。

“カ”は“k・ck”の音、

“パ”は“p”の音、

このつづりで終わる単語に“-s”や“-es”がつくと、“ス”の音がくつつく。

でもって“シャ”は“sh”、

“サ”は“s”の音で、

“タ”は“t”(“チ”は“ch/tch”だよ)には“es”がくつついて“イズ”になる。

これを使って、表を見てみると. . . .

ほら、ぴったりでしょ？

こんな風に、この呪文を唱えてどんどん複数形を増やしていこうね！

あとは、数の表し方をメモっておくよ。数字some any no

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

数で数えられない名詞

今回は名詞の中でも『数で数えることができない名詞』だね。

でも、この時点で、今日の授業の半分はお疲れさまあ！

なぜって？

だって、“数で数えることができない”＝

“量で数えればいい”ってことじゃん。

でも、それだけで出来るとはかぎらないもんね。

よし、確認ちゃおう！

まずは、名詞にまでさかのぼっておくよ。

名詞は『人やものの名前や種類』を表す言葉だったね。

でもって、普通名詞とか固有名詞なんて言葉がでてきたね？

今回の『量で数える名詞』はね、普通名詞にあたるんだ。

量で数えるから、“a”はいらないよ。

もし“a”の代わりに何かつけるんだったら、

複数形のときみたいに“some”をつけようね。

ただし、ここでいう“some”は“いくつかの”って意味にはならないんだ。

“some”には、

① “いくつかの～” と

② “量で数える名詞ですよ～”の目印を表す2つの顔があるんだ。

文章の形に合わせて“any”に換えるのは一緒だよ。

あとは、『量で数える名詞』の見抜き方だね。

見つけ方はね、

“そのモノを2つにちぎったときに、

もと同じように使えるか??”なんだ。

例えば、カメラ。

二つにちぎると、カメラとして使い物にはならないよね。

携帯電話もそうだね。

半分にバキッと折っちゃうと電話できないね。

“2つにちぎると使えないモノ”は『数で数える名詞』になるんだ。

じゃ、チーズで考えみようか。

チーズをぶちっとちぎってもチーズはチーズだね。

石鹸や水、お肉もそうだね。

こんな風にある程度のものはこの2つにちぎる考え方で

『数で数える名詞』か『量で数える名詞』かを定めることができるんだ。

『量で数える名詞』の多くは、食べ物ででてくるよ。

しかも、スーパーで重さの単位で販売している食べ物は

『量で数える名詞』になるんだ。

でも、『量で数える名詞』をどうしても『数』で表したい！

そんな君にはこれがオススメ。

入れ物や売られているときの形を数えればいいんだ。

例えば、コーヒー“coffee”を数えたければ、

コップにそそげば問題なしだね。

コップ一杯のコーヒー“a cup of coffee”になるね。

あとはその種類を増やせば便利だよ。

“一瓶の”は a bottle of ～、

“1パックの(飲み物)”はa carton of ～、

“1パックの(食べ物)”ならa package of ～、

“スプーン一杯の”ならa spoonful of ～ もあるし、

a box of ～(1箱の)、

a dozen of～(1ダースの) になるんだ。

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

一般動詞 〔三人称単数形現在〕

今回は、一般動詞の応用編に進んでいくよ。

1人称・2人称での動詞の使い方は大丈夫だね？

今日は、3人称での使い方を見ていくね。

3人称単数は“私”と“あなた”以外の人やモノが当てはまるんだ。

もうね、それは無限に感じるぐらいにたくさんあるよ。

そうだなあ、例えば今現在、世界には63億人の人が生活しているんだ。

その中から、“自分一人”と目の前にいる“あなた一人”を差し引くと、

62億9999万9998人の人それぞれが3人称に当てはまるってことだ。

この例え自体は大きいかも知れないけど、

それでも人だけでこれだけの種類が3人称に当てはまるということだけ覚えておこうね。

ましてや、動物や乗り物、職業、性別などを含めるとハンパない種類になるんだ。

だからね、3人称単数にあたる言葉を増やすと考えずに、

『“私一人”と“あなた一人”以外であれば3人称単数になる。』

このフレーズを頭にしみ込ませようね！

今、しみ込ませておこう！

『“私一人”と“あなた一人”以外であれば3人称単数にな～る。』

『“私一人”と“あなた一人”以外であれば3人称単数にな～る。』

『“私一人”と“あなた一人”以外であれば3人称単数にな～る。』

『“私一人”と“あなた一人”以外であれば3人称単数にな～る。』

じゃあ、今から出てくる言葉は何人称の単数や複数にあてはまるか答えてね！

私

彼女

彼ら

私の妹

私達

ジャック

ブラウンさん

この男の子達

私の友達(の一人)

あなた

彼女のお兄さん

彼のお母さん

彼女達

私の弟

あのネコ

彼女のお父さん

あなたのお兄さん

わかったかな??

正解はこちら↓↓

“私”は1人称単数。

“彼女”は3人称単数。

“彼ら”は3人称複数。

“私の妹”は“妹”のことを言いたいのであって“私の”って言葉はただのかざりだよ。

よって、ひっかけ。答えは3人称単数。

“私達”は1人称複数。

“ジャック”は3人称単数

“ブラウンさん”は3人称単数

“この男の子達”は3人称複数

“私の友達(の一人)”もひっかけ。答えは3人称単数。

“あなた”は2人称単数。

“彼女のお兄さん”は3人称単数。

“彼のお母さん”も 3 人称単数。

“彼女達”は 3 人称複数。

“私の弟”は 3 人称単数。もうひっかからないでね。

“あのネコ”も 3 人称単数だね。

“彼女のお父さん”も 3 人称単数。

“あなたのお兄さん”も 3 人称単数。

と、なるわけだね。

しばらく、練習は選択肢から選ぶ形式になっているから、

そこで練習を積んでおこうね！

あとは、動詞の形にちゅ～も～く！

英作文はそれから、それから！

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

副詞

今回は『副詞』って品詞を見ていくよん。

この『副詞』をよ〜くわかるには、

『形容詞』が使えないとちょっとキビシイんだ。

まずは、『形容詞』がどんな言葉だったか思い出そう！

『形容詞』ってどんな品詞をくわしくするんだったっけ??

よ〜く思い出してみてえ〜. . . .

それは、

名詞だったんだよね！

『形容詞』は名詞をくわしくする品詞なんだよね。

じゃあ、『副詞』は一体なんなんだろう。

それはね、

“名詞以外をくわしくする”言葉なんだ。

え!?

名詞以外って何?

と思うかもしれないけど、

今から挙げるものが名詞以外にあてはまるよ。

動詞、

形容詞、

副詞、

文全体

この4つが出てきたら“名詞以外”という言葉思い出そうね。

それじゃあ、覚えてしまおう！

『副詞は名詞以外をくわしくする』

『副詞は名詞以外をくわしくす～る』

『副詞は名詞以外をくわしくす～る』

『副詞は名詞以外をくわしくす～る』

覚えたかな？

何度も口で、心の中で、頭の中で唱えてみるんだよ。

『副詞は名詞以外をくわしくす～る』

次に唱えておきたいのが、

“名詞以外”だね！

これも唱えるよ～。

せ～の、

『名詞以外、動詞、形容詞、副詞、文全体』

『名詞以外、動詞、形容詞、副詞、文全体』

『名詞以外、動詞、形容詞、副詞、文全体』

『名詞以外、動詞、形容詞、副詞、文全体』

これでOK！

もし忘れそうになったり、

思い出せないときはここに戻ってきてね！

ではでは、次はその『副詞』の使い方だね。

『副詞』はね、基本的に語順の〔どんな風に〕にあてはまるんだ。

だから、今までで書くことができるようになった英文に

パーツをつけるイメージで英作文ができるんだ。

ただし、『副詞』を使うときの注意が2つ必要。

まず一つ目が“頻度を表す副詞”なんだ。

“頻度”って言葉の意味は、

“同じことがどれくらい繰り返して起こるのか”を意味してるよ。

よく出てくる単語には、

always(オールウェイズ：いつも)

usually(ユージュアリー：普通は)

often(オフン：しばしば、たいてい)

sometimes(サムタイムズ：時々、たまに)

seldom(セウダム：めったに～ない)

rarely(レアリィ：めったに～ない)

never(ネヴァー：決して～ない)

なんてのがああるよ。

これらの言葉を使うときは、

語順の通りに英作することができないんだ。

一般動詞で使うときは、

I always walk in the morning.(私は／いつも歩く／午前中に)

という風に一般動詞の前にくっつくんだ。

でも、be動詞になると、

I am always fine.(私／＝／いつも元気だ)

ってな感じでbe動詞の後ろについちゃう。

この使い方、難しく思うかもしれないけど、まさに、

“名詞以外”の言葉をくわしくしているんだ。

“いつも歩く”は一般動詞を、“いつも元気だ”は形容詞を、

それぞれくわしくしているよね？

だから、君がさっき唱えてくれたあのルールは

すっごい大切な基本のルールを短くまとめたものだから、絶対に覚えようね。

二つめに注意が必要な『副詞』は、

空間を表す、

“there(デア：そこに)”

“here(ヒア：ここに)”、

“home(ハウム：家に)”なんだ。

日本語の意味をぱっと見ると、

〔どこで〕の語順に当てはまるような気がするよね。

これ、実は『副詞』なんだ。

一般的に、“～へ向かう、行く”を表現するときに、

“go to 場所”って書くよね？

でも、この3つの言葉には、“to”がつかない。

それは、『副詞』だからなんだ。

じゃあ、

なぜ『副詞』なの？って疑問はわいたかな？

その理由はね、

空間や場所を表しているようには見えるんだけど、

この3つの場所は地名じゃないよね？

いいかい？

英語ではね、

はっきりと“この場所だ！”

って所に向けて“to”をつけるわけ。

“そこ”とか“ここ”って言葉は、

時と場合に合わせてコロコロ場所が変わっちゃうでしょ？

だから、“to”はつけないんだ。

“家”もそうだよ。

“家”って英語には“house”と“home”の2種類あるのは知ってるかな？

この違いにルールが出てくるんだ。

“house”はもともと、建物や建造物としてのモノを意味するんだ。

それに対して、“home”は、建物という意味よりも

“心が落ち着く空間”のことを指すんだ。

だからね、“家に帰る”って英語にするときは、

“go to my house”と“go home”の2通りで書くことができるんだ。

ま、たくさんのルールがあるみたいに聞こえてしまうけど、

繰り返して読んでいくうちにほわ～んとわかるようになるよ。

今日の授業はここまで。お疲れさまでした！

それじゃ、気を取り直して英作文を書いていこう！

これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！

時制

今日の授業は時制（じせい）についてだね！

時制って、英語ではトンデモナク大切な考え方なんだ。

だからと言って、

急に難しくなるわけじゃないから大丈夫だよ。

前回、『3人称単数形現在形』って

言葉が出てきたのは覚えているかな？

この“現在形”って言葉が『時制』の一つなんだ。

ようするに、“いつのことを言っているのかがわかる”ために

『時制』があるんだ。

日本語でも時制はあるよ。

“朝起きる”、

“朝起きた”、

“朝起きるだろう”。

ね、それぞれの動作をしているタイミングがズレているでしょ？

このそれぞれのタイミングをまとめて『時制』っていうんだ。

『時制』がわかるとラッキーな事がたくさんあってね、

英語がすらすら書けるようになるからぜひ覚えてね！

それじゃあ、一つずつ見ていくよ。

まず一つめ。

“～する。～です。”は今現在のことを言っているから

『現在形（げんざいけい）』。

二つめは、

“～した。～だった。”。

これは今より前（昔）のことなのはわかるかな？

これが『過去形（かこけい）』。

三つめが、

“～だろう。～するつもり。”

”。これは今現在よりも先の未来のことを言ってるよね。

これが『未来形（みらいけい）』。

次に出てくるのが、

“～しているところだ。～している。”なんだけどわかる？

『現在形』には見えるんだけど、ちょっぴり違うんだ。

『現在形』って時制はもともとは

“現在のある習慣”を意味しているんだ。

“習慣”ってのは、

“日常の決まりきった行動”のことなんだ。

その『現在形』に対して、

“～しているところだ。～している。”という言葉は、

日常生活についてじゃなくて、

“今、どうなのか”

ってことを一番に伝えたいんだ。

そうだな、“習慣”よりも“瞬間”を伝えたいって考えればいいかな。

こんな風にね、

“瞬間”を意味する『時制』を

『進行形（しんこうけい）』っていうよ。

で、“～しているところだ。～している。”は

今現在の“瞬間”を言ってるから、

『現在進行形』になるわけ。

じゃあ、最後に今から出す言葉の『時制』は何でしょう？

当ててみてね！

“～しているところだった。～していた。”

ヒント①は、“た”だね。

ヒント②は、“している”だね。

よって答えは、

“過去”の“瞬間”を表しているから、

『過去進行形（かこしんこうけい）』 っとなるわけだね。

いま読んだもらった『時制』が、

今後はドンドン出てくるんだ！（楽しみだね笑）

しばらくは、『時制』を一つずつクリアしていく必要がある。

だからね、英作文でそれぞれの『時制』に合わせた英文を正しく書けるようにしておくんだよ。

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

今日の授業はここまで。お疲れさまでした。

命令文

さあ、今回は『命令文』だね！

今までの、復習とルールの見直すチャンスの単元だから、

一気にいっちゃおうよ～♪

『命令文』はその名の通り、

命令しているわけだから、

“～しなさい。～なりなさい。～してはだめよ。”なんて表現が一般的。

日本語での訳し方（和訳）を知っていれば、

英語にもしやすいよ。

英語の形も簡単で、

“一般動詞をそのままの形で使う”ってルールを守るだけ。

『人称』を気にする必要も、

『時制』を心配する必要もないんだ。

あ、そうそう。

“一般動詞をそのままの形”でって言ったけど、

“そのままの形”のことを『原形（げんけい）』って呼び方もあるから覚えておこうね。

では、英文にしてみようか。

『命令文』は、“あなた”があると考えて作ってみようね。

例えば、

“あなたは毎日学校に行きます。”は、

“あなた／は行きます／学校へ／毎日”

だから、

You go to school everyday. だね。

“You”を取ってあげると．．．

Go to school everyday. だね。

(和訳は“毎日学校にいきなさい。”だよ。)

これで出来上がり。

否定文も同じ。

You don't go there.

(“あなた／は行きません／そこへ”)

から“You”と取ると．．．

Don't go there.

(“そこへ行ってはいけません。”)

こんな風に“you”を使う肯定文と否定文ができれば簡単に英作文が出来るんだ。

be動詞もあるよ！

You are a good boy.

(“あなた／＝／良い子”)

から“You”と取ると. . .

Be a good boy.

(“良い子にきなさい。”)

“are”は、be動詞が“you”に合わせて変化しているから、

“you”がなくなると、be動詞がもとに戻るんだ。

あとは、文章を飾るパーツを紹介するね。

“please (プリーズ)”は、

命令文の先頭(文頭というよ。)だったり、

文の終わり(文末だね。)にくっついて

“～してください。”となるんだ。

『丁寧』な意味が加わるよ。

“let's (レッツ)”は命令文の文頭につけてね。

“～しよう。～しましょう。”で使って、

『勧誘(誘うこと。)]の意味で使えて便利だよ。

“shall (シャル)”は、

『勧誘』の疑問文だと考えようね。

“誘う相手”と

“誘っている私”を合わせて、

“私達”で考えるんだ。

すると、

Shall we dance?

(ダンスをしませんか。)

って、相手を誘うことができるんだよ。

返事は“Yes, let's.”と

“No, let's not.”で答えてね。

“will (ウィル)”は、もともと『時制』でいう『未来形』で使うことが多いんだ。

“～するつもり。～だろう。”という意味とは別に

相手の人に気を使いながら、

“～してくれませんか。”って使うんだ。

考えてみるとね、

例えば、“窓を開けてください。”と言われたときって

窓は開いてる？

それとも、

まだ開いてない？

“まだ開いていない”よね？

だから、

『依頼（お願いすること）』の意味として、

これからの動作を表す『未来形』がぴったりなんだね。

今回の授業はここまで！お疲れさまでした。

あとはまたいつものごとく、繰り返して英作文を書いてみてね！

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

Itの特別用法

今回は、『特別なit』を見ていくよ～！

最近の英語はどう？

進んでる？

あと少しでこのテキストもお別れになるし、

がんばって終わらしちゃおうね！

で、みんなが良く知ってる“それ”のitなんだけど、

その中でも『どうでもいいit』っていうのがあるんだ。

この『it』はね、

素直に率直な感情や感想

を出したいときに使うとだけ知っておけば、案外簡単なんだ。

日本語でも、

おいしいものを口にすると、

“おいし～い。”って言葉だけを口にするでしょ？

その感覚と同じなんだ。

英語にすると、

“It's good！”ってなるわけだね。

じゃあ、よく出てくるものを順番に見ていくとしよう。

英文の作り方も合わせていうので、一つずつ確認していこう。

まずは、天候の場合。

“今日は晴れています。”を語順に並べると、

“今日は／晴れています。”だよな？

でもね、よくよく考えてみると、

“今日”って言葉は語順でいう

『いつ』にあてはまっちゃうのがわかる？

そうすると．．．

“晴れています／今日は”だよな？

英語にすると、

“Be fine today.”になるよね？

んんんん??

どこかでこの文章見たよね？

そう！『命令文』だよな？

“晴れなさい、今日は。”って

なんだか、お空に命令してるみたいだね。汗

そこでだ。

命令の形にならないように、『どうでもいいit』が登場するんだ。

そうすると、“It is fine today.”となる。

こうしておけば、

“it”に意味はないけど、命令文にならないでしょ？

そう考えておくと、使いやすいよ！

あとは、この“どうでもいいit”がよく使われる例を紹介しておくね。

『気候』だと、

“It is cold today.”
(今日は寒いね。)

『時間』だと、

“It is Monday today.”
(今日は月曜日だ。)

“What day is it today?”
(今日は何曜日ですか。)

『時刻』だと、

“It's five.”

(5時だ。)

とか

“What time is it now?”

(今、何時ですか。)

『距離』では、

“How far is it form here?”

(ここからどれくらい遠いですか。)

『明暗』になると、

“It's dark here. Turn on the light!”

(ここ、暗いね。電気つけて！)

なんて表現ができるんだ。

便利でしょ？

あとは英作文をしながら、この便利な言い回しを

自分のものにしちゃおう！

今日の授業はここまで。お疲れさまでした！

なんてものがあるんだ。知っておいて損はないよ～。

今日はここまで。 お疲れさまでした。

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

いろいろな疑問詞

今回は、『疑問詞』をまとめて復習しつつ、

練習できるようにしていこうね。

では、まず『疑問詞』のおさらいをしていこう。

『疑問詞』の種類は、

“誰”を答えてほしいときの“who（フウ）”、

“何”を答えてほしいときの“what（ワット）”、

“いつ”を答えてほしいときの“when（ウエン）”、

“どこ”を答えてほしいときの“where（ウェア）”、

“どっちか”を答えてほしいときの“which（フウィッチ）”

などがあるんだ。

ちなみに、

前に“whose（フーズ）”って言葉が出てきたと思うけど、

これは“who”が変化したものなんだ。

最後に“how（ハウ）”なんだけど、

こいつはちょっとばかしくセモノだから気をつけてね。

なんと、

この“how”には、3つの意味を持つんだ。

一つは、“どうですか”の“how”。

会話でも、

最初の最初に学ぶ“How are you?”の“how”のことだよ。

“どうですか”っていったけど、

これは相手に“感想”や“調子”を聞きたい時に使うんだ。

“How are you?”は“調子”を聞いているんだ。

“あなた（の調子）はいかがですか。”っていう意味なんだね。

“感想”の“how”はというと、

“How do you feel about my new bike?”

（“どのように／あなた／は感じますか／僕の新しい自転車に（ついて）”）

というように使うんだ。

次はね、“どうやって”の“how”だ。

“手段”とか“方法”を答えてほしいときに使ってね。

“How do you go to the station?”

（“どうやって／君／は行くの／駅へ？”）

“I go there by bus.”

（“僕／は行くんだ／そこへ／バスで”）

こんな感じで出てくるよ。

最後の使い方だ。

“どれくらい”って意味で“程度”を聞きたいときはこれを使うんだ。

一度、『複数形』で出てきたの、覚えてるかな？

“どれくらい／たくさんの数の？”って“how many”ってあったでしょ？

あの“how”のことだね。

実は、この“程度”の“how”はたくさんあるんだ。

あるっていうより、作れるんだ。

“how old”は“何歳”って日本語で訳すことが多いけど、

本当は“どれくらい／年をとっているの”って使っているだけなんだよ。

“how far”だと“どれくらい／遠い”で距離を聞けるし、

“how long”であれば、“どれくらい／長い（時間）”で使える。

“how high”だったら、“どれくらい／高い”で“高さ”を聞ける。

“背の高さ”だったら“how tall”、

“値段の高さ”だったら“how much”になるわけ。

（お金は『量で数える名詞』だから“much”ね。）

よく、魚屋さんのこぼれ話で出てくるんだけど、

ある日、外国人がある魚屋さんに買い物に来るんだ。

そして、欲しい魚を指さして、

“I'll take This fish.”って頼むんだ。

（このお魚ください。）

そうすると、魚屋さんが

“へい、らっしゃい。この魚だね？”

すると、外国人が

“How mush is it?”と聞くわけ。

(おいくらですか)

すると、魚屋さんのおじさんは、

“これは、はまち (how much) じゃねえよ。”

ってつつこむわけ。笑

こんな事が実際にあったかどうかは謎だけど、

値段を聞きたいときに“how much”なんだって

わかったかな？

わかってもらえればOKだよ。

あとは『疑問詞』での答え方を確認しておくよ～。

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

助動詞

今回は『助動詞（じょどうし）』だね。

意味はそのまんま、“動詞を助ける言葉”だよ。

ようは、語順の〔どうする〕の部分をパワーアップ↑↑

させるわけだ！

今回はテキストにある“can（キャン）”を取り上げて見ていこう。

“can”は“～することができる”って意味があるんだ。

“走ることができる”、

“飛ぶことができる”、

だったり、

“変わることができる”

という風に、好きな動詞に付け足すだけ。

素敵でしょ？

英語にするときには、『助動詞』という言葉のとおりには書けばいいんだ。

つまり、『助動詞』＋『動詞』、

略して、

『助＋動詞』って覚えておこうね。

この書き方でさっきの日本語を英語にすると．．．

“走ることができる”は、

“can run”、

“飛ぶことができる”なら、

“can fly”だし、

“変わることができる”は、

“can chage”なんだ。

あれれ？“can change”ってセリフ、

どこかで聞いたことない？

そうそう、オバマ大統領だね！

あの人がアメリカ合衆国の大統領選挙のときに、

国民に向けて発していた言葉が、

“We can change!”

（僕たちは変わることができる！）

だったんだね。

こうやって見てみると、簡単だね。

あとは、疑問文と否定文の特徴に触れておこう。

『助動詞』はいつも『動詞』の前に来るのが大好きなんだ。

だから、疑問文でも同じ考え方だよ。

“～することができますか。”って聞きたいときには、

“Can you 動詞？”にするんだ。

ね、『助+動詞』は同じだね。

“Can you run?”

(あなたは／走ることができますか。)

“Can you fly?”

(あなたは飛ぶことができますか。)

“Can you change?”

(あなたは変わることができますか。)

ってことになるんだね。

返事の仕方は、“Yes, I can.”と“No, I can not.”で答えるんだ。

“Yes, I can.”って、

“can”で終わっているようにも見えるんだけど、

“Yes, I can (change) .”のことなんだよ。

『これは～・あれは～』の疑問文のところで話したと思うけど、

一度相手の人に聞かれたことを、

いちいちしつこく答えなおさなくていいんだっただね？

(これを『省略』っていうんだ。)

この『助動詞』を使うときも一緒だよ。

否定文も難しくはないね。

“No, I can not.”って答え方があったでしょ？

“I can not 動詞.”と書けばいいんだ。

“I can not run.”

(私ははしることができない。)

“I can not fly.”

(私は飛ぶことができない。)

“I can not change.”

(私は変わることはできない。)

ね、否定文もかきやすいよね？

あ、そうそう。

否定のときに、“can not”を使うでしょ？

この形ね、短くすることができるんだ。

“cannot (キャノット)”だったり、

“can't (キャント)”って使ったりするよ。

こうやって短くする形のことを『短縮』っていうんだ。

これも合わせて覚えておこうね。

今日の授業はここまで。お疲れ様でした！

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

進行形

それじゃ、今回は『進行形』を進めるよ！

『時制』ってところで、『進行形』の話をしたのを覚えてる？

『現在形』は“今現在の習慣”を表し、

『現在進行形』は“今現在の瞬間”を表すんだっただよ？

この“瞬間”を表すために、守って欲しいルールがあるんだ。

それはね、

“一瞬”の状態や見た目を作るんだよ。

そこで、be動詞の“=（イコール）”を使うんだ。

で、“=（イコール）”と何をつなげるかというと．．．

『現在分詞』なんだ。

ゲンザイブンシ??

『分詞』というのは、“動作の見た目や状態”を表す言葉のことなんだ。

日本語では、そういう使い分けがないから、

最初のうちに『分詞』という言葉、形を覚えておくよ！

さあ、唱えるよ！

『分詞』、“動作の見た目や動作”を表す言葉、

『分詞』、“動作の見た目や動作”を表す言葉、

『分詞』、“動作の見た目や動作”を表す言葉、

『分詞』、“動作の見た目や動作”を表す言葉、

『分詞』、“動作の見た目や動作”を表す言葉、

この『分詞』には2種類の顔があるんだ。

一つは、『現在分詞』といって、動詞に“ing”をつける形のもの。

もう一つは、『過去分詞』というもの。

(『過去分詞』はBOOK2でじ〜っくり進めるから今は名前だけね。)

要するに、『現在進行形』とは、

『be動詞』と、

『現在分詞』を使って、

“瞬間”を伝えるんだ。

英文を見ておくよ〜!

“I play tennis every day.”

(私／はします／テニスを／毎日)

この文章の“毎日”を“今”に置き換えると．．．

“私／＝／しているところです／テニスを／今”

ってなるのわかるかな？

“今、目の前で”って意味がくると、

自然に動作は“している”だったり、“しているところ”になるんだ。

この表現自体は、日本語のルールだから覚えておこうね。

英語にしてみると、

“I am playing tennis now.”

(私は今テニスをしています。)

こうなるわけだね。

疑問文であれば、

“Are you playing tennis now?”だし、

(あなたは今テニスをしてるところですか。)

否定文にするなら、

“I am not playing tennis now.”

(私は今テニスをしていません。)

でいいわけだね。

英作文を進めるだけなら、『be動詞』に“doing”の形でつなげれば十分なんだけど、

この『進行形』で本当に大切なことは、

“doing”という形が『動詞』とは別モノである『現在分詞』なんだということ。

このルールがしっくりくるまで、英作文を繰り返そうね！

今日の授業はここまで。お疲れさまでした！

[これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！](#)

過去形

いよいよこのBOOK1の最後の解説になるね。

君と出会ってから、

長いようで短かった、この授業もこれでお終いだね。

なんだか、さびしいね. . .。

でも、大丈夫！

BOOK2があるから！！笑

現在、鋭意作成中だよ！

僕もがんばるから、最後まで一緒にやりきろうね！

では、『過去形』を進めていこう！

『過去形』はね、その名の通り、

“過去の習慣”を表すんだ。

そのときに、『動詞』の形が変化するんだ。

2通りの変化があるので、覚えてしまおうね！

一つは、『規則変化』というもの。

これはね、『一般動詞』に“-ed”をつけるんだ。

“play”であれば、“p l a y e d”という風にね。

『規則変化』というだけあって書くのは書きやすいんだけど、

発音の仕方に気をつけて欲しい。

“-ed”には、3種類の発音が存在するんだ。

(複数形の発音のルールを思い出してね。)

まずは、動詞の語尾が無声音のときは“トゥ”。

“worked”、“washed”、“cooked”などがそうだね。

次が、動詞の語尾が有声音のときは“ド”。

“played”、“cleaned”、“called”などがあるんだ。

最後が、動詞の語尾が“-t”や“-d”で終わるときは“イド”。

“wanted”、“visited”、“needed”などがあるんだ。

あとね、つづりで気をつけて欲しいときがあるんだ。

lived、closed、liked

原形が“-y”で終わる動詞のときだ。

“study”、“cry”、

play enjoy

stop、drop

不規則変化

be動詞の過去形

過去進行形

これは～・あれは～ | 発音トレーニングはここから！

最後に。

まずはじめに、君の大切な、大切な時間を使って

僕の伝えたいことに耳を傾けてもらって、

本当にありがとう。

これまで、全19回を通して、英語について話したんだけど

どうだったかな？

しっかりと馴染んだ单元もあれば、

なかなかうまくいかず、

時間がかかった单元もあったはず。

英語はね、

というよりも言語ってね、

初めから終わりまでの内容が

すべてつながってしまうんだ。

つまりは、

ある单元や時制がよくわからないまま進んでいくと、

英語そのものが全体的にぼやけてしまうんだ。

それを知ることもなく、単純に暗記科目として

苦勞ばっかりしている人がどれだけ多いことか。

だからこそ、

一人でもいいから、それに気づいてもらいたくて、

今回、僕はこの本を書きたいて思ったんだ。

そして、

この本だけに満足せずに、

こんなことや

あんなことにも、

ぜひ挑戦してみてくださいね！

これからも伝えたいことがまだまだたくさんあるんだ。

もしチャンスがあれば、また会おうね。

平成23年 6月 ゆたかまえお

BASIC ENGLISH COMPOSITION BOOK1(for Writing)

<http://p.booklog.jp/book/26247>

2011年6月 発刊

BASIC ENGLISH COMPOSITION BOOK1(for Reading)

<http://p.booklog.jp/book/26579>

2011年6月 発刊

BASIC ENGLISH COMPOSITION BOOK1(for Assist)

<http://p.booklog.jp/book/26639>

2011年6月 発刊

[著者 : yutakamaeo](#)

発行所 : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

[こちらへ感想いただけると嬉しいです!](#)

[本棚へ入れる](#)